別紙３　主な気象情報に係る発表基準と住民のとるべき行動（例）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 気象情報など | 発表基準 | 住民のとるべき行動（例） |
| 台風情報 | 台風が発生したときに発表される。  台風の位置や強さ等の実況及び予想が記載されている。  台風が日本に近づくに伴い、より詳細な情報をより更新頻度を上げて提供。 | 気象情報の発表に注意 |
| 府県気象情報 | 警報等に先立って警戒・注意を呼びかけたり、警報等の発表中に現象の経過、予想、防災上の留意点を解説したりするために、都道府県別（北海道、沖縄県ではさらに細かい単位）に適時発表される。 | 気象情報の発表に注意 |
| 記録的短時間大雨情報 | 大雨警報（浸水害）等が発表されている状況で、数年に一度しか起こらないような記録的な短時間の大雨を観測したときに発表される。 | 避難 |
| 警報級の可能性  (H29出水期～) | 翌日から5日後までの警報級の現象のおそれ（警報発表の可能性）が［高］［中］２段階の確度で提供される。 | ・翌日の［中］～深夜などの警報発表を想定した心構え。  ・翌日の［高］～警報級の現象が予想される詳細時間帯を確認し、警報発表時の準備。 |
| 大雨注意報 | 大雨により、災害が起こるおそれがある場合に発表される。注意を呼びかける対象となる災害として、注意報文の本文に、土砂災害、浸水害のいずれか又は両方が記載されている。 | 警報等の発表に注意。発表中の注意報に夜間に警報発表の可能性が高いと記載されている場合は、土砂災害警戒区域等においては、避難準備（災害時要援護者は、避難）。 |
| 洪水注意報 | 河川が増水することにより、災害が起こるおそれがある場合に発表される（指定河川については、この洪水注意報や警報の他、河川を特定して水位予測結果を含む指定河川洪水予報も発表される）。 | 警報等の発表に注意。 |
| 大雨警報 | 大雨により、重大な災害が起こるおそれがある場合に発表される。  警戒を呼びかける対象となる災害に応じ、「大雨警報（土砂災害）」「大雨警報（浸水害）」「大雨警報（土砂災害、浸水害）」という名称で発表される。 | 避難準備（災害時要援護者は、避難） |
| 気象情報など | 発表基準 | 住民のとるべき行動（例） |
| 洪水警報 | 河川が増水することにより、重大な災害が起こるおそれがある場合に発表される（指定河川について、この洪水警報や注意報の他、河川を特定して水位予測結果を含む指定河川洪水予報も発表される）。 | 避難準備（災害時要援護者は、避難）以上の行動。 ※指定河川洪水予報、水位到達情報による氾濫警戒情報による。 |
| 大雨特別警報（土砂災害、浸水害） | 大雨により、重大な災害が起こるおそれが著しく大きい場合に発表される。警戒を呼びかける対象となる災害に応じ、「大雨特別警報（土砂災害）」「大雨特別警報（浸水害）」「大雨特別警報（土砂災害、浸水害）」という名称で発表される。 | 避難 |
| 指定河川洪水予報  〇○川氾濫注意情報 | ○○川△△水位観測所の水位が氾濫注意水位（水防団の出動の目安としてあらかじめ定められた水位）に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合 | 氾濫の発生に対する注意 ※警戒情報等に注意 |
| 指定河川洪水予報  〇○川氾濫警戒情報 | ［洪水予報］  ○○川△△水位観測所の水位が一定時間後に氾濫危険水位（市町村長の避難勧告等の発令判断の目安としてあらかじめ定められた水位）に到達が見込まれる場合、あるいは避難判断水位（市町村長の避難準備・高齢者等避難開始の発表判断の目安としてあらかじめ定められた水位）に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合  ［水位到達情報］  ○○川△△水位観測所の水位が避難判断水位に到達した場合 | 避難準備（災害時要援護者は、避難） |
| 指定河川洪水予報  〇○川氾濫危険情報 | ○○川の水位が氾濫危険水位（市町村長の避難勧告等の発令判断の目安としてあらかじめ定められた水位）に到達 | 避難 |
| 水位到達情報 | 洪水予報河川以外で都道府県が指定した水位周知河川において、避難の目安となる特別警戒水位に達した場合に発表される。（道内１３０河川を指定） | 避難 |
| 土砂災害警戒情報 | 大雨警報（土砂災害）等が発表されている状況で、土砂災害発生の危険度が更に高まったときに発表される | 避難 |
| 気象情報など | 発表基準 | 住民のとるべき行動（例） |
| 土砂災害警戒判定メッシュ情報 | 5km 四方の領域（メッシュ）毎に、土砂災害の危険度を5 段階に判定した結果を表示したもの。避難に要する時間を確保するために2時間先までの雨量予測に基づく土壌雨量指数の予想を用いている。 | メッシュ情報で「実況または予想で大雨警報の土壌雨量指数の基準に到達」する場合は、避難準備（災害時要援護者は、避難）。 |
| 高潮注意報 | 台風や低気圧等による異常な海面の上昇により災害が発生するおそれがあると予想したとき | 警報等の発表に注意。  発表中の注意報に、高潮警報発表の可能性が高いと記載されている場合は、早めの避難（避難準備・高齢者等避難開始）。  ※潮位の上昇よりも先に暴風が吹き始め、屋外避難が困難となるので、暴風警報発表時点で速やかに避難。 |
| 高潮警報 | 台風や低気圧等による異常な海面の上昇により重大な災害が発生するおそれがあると予想したとき | 避難。 |
| 高潮特別警報 | 数十年に一度の強さの台風や同程度の温帯低気圧により高潮になると予想したとき | 避難（完了していること）。 |
| 津波注意報 | 予想される津波の高さが高いところで０．２ｍ以上、１ｍ以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。 | 海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れる。 |
| 津波警報 | 予想される津波の高さが高いところで１ｍを超え、３ｍ以下の場合 | 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難 |
| 大津波警報（特別警報） | 予想される津波の高さが高いところで３ｍを超える場合。 | 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難 |
| 大雪警報 | 降雪や積雪による住家等の被害や交通障害など、大雪により重大な災害が発生するおそれがあると予想したとき。 | 外出を避ける。  停電、断水に備える。  ＦＦ暖房機の吸排気口の閉塞を防ぐ。 |
| 気象情報など | 発表基準 | 住民のとるべき行動（例） |
| 大雪特別警報 | 数十年に一度の降雪量が予想される場合。 | 外出を避ける。  停電、断水に備える。  ＦＦ暖房機の吸排気口の閉塞を防ぐ。 |
| 暴風雪警報 | 雪を伴う暴風により重大な災害が発生するおそれがあると予想したとき。暴風による重大な災害のおそれに加え、暴風で雪が舞って視界が遮られることによる重大な災害のおそれについても警戒を呼びかける。ただし、「大雪＋暴風」の意味ではなく、大雪により重大な災害が発生するおそれがあるときは、「大雪警報」を発表。 | 外出を避ける。  停電、断水に備える。  ＦＦ暖房機の吸排気口の閉塞を防ぐ。 |
| 暴風雪特別警報 | 数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧による雪を伴う暴風が吹くと予想される場合。 | 外出を避ける。  停電、断水に備える。  ＦＦ暖房機の吸排気口の閉塞を防ぐ。 |
| 強風注意報 | 強風により災害が発生するおそれがあると予想したとき。 | 高潮浸水が想定される地域においては、併せて高潮注意報が発表され、かつ高潮警報発表の可能性が高いと記載されている場合は、早めの避難（避難準備・高齢者等避難開始）。 |
| 暴風警報 | 暴風により重大な災害が発生するおそれがあると予想したとき。 | 外出を避ける。  停電、断水に備える。  高潮浸水が想定される地域においては、併せて高潮注意報（警報に切り替える可能性が高い）や高波警報が発表されている場合は、速やかに避難。 |
| 暴風特別警報 | 数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合。 | 外出を避ける。  停電、断水に備える。  高潮浸水が想定される地域においては、併せて高潮注意報（警報に切り替える可能性が高い）や高波警報が発表されている場合は、速やかに避難。 |
| 気象情報など | 発表基準 | 住民のとるべき行動（例） |
| 噴火警報（火口周辺） | （レベル２：火口周辺規制）  火口周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。 | 通常の生活  火口周辺への立入規制等 |
| （レベル３：入山規制）  居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。 | 通常の生活（今後の火山活動の推移に注意。入山規制）状況に応じて災害時要援護者の避難準備等 |
| 噴火警報（居住地域）  ※特別警報の位置づけ | （レベル４：避難準備）  居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まってきている）。 | 警戒が必要な居住地域での避難の準備、災害時要援護者避難等が必要（状況に応じて対象地域を判断） |
| （レベル５：避難）  居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。 | 危険な居住地域からの避難等が必要（状況に応じて対象地域や方法等を判断） |